

色彩の識別性に着目したチームカラーとチーム運営団体の属性分析 —Jリーグのクラブカラーを例に—

土川 翔平

色彩における識別性とは、「色によって違いがわかる性質」のことであり、この性質はユニフォームにおいては、ユニフォームの着用者とそうでない人とを区別することを助ける性質として着目されてきた。スポーツにおける色彩の識別性は、このようにユニフォームの色彩として用いられ、チームカラーはユニフォームの色彩としてしかとらえられていなかった。そこで本研究では、チームカラーがチーム運営団体の属性と関連していることを明らかにすることを目的に、Jリーグを調査対象とした、Jリーグの各クラブのクラブカラーとクラブの属性との関連を調査した。

10種類のクラブの属性と5種類のクラブカラーを組み合わせ、それぞれの関連を分析したところ、「クラブ理念」と「アカデミー方針」の2種類の属性で、クラブカラーとの関連が見受けられた、他の8種類の属性ではクラブカラーとの関連が見受けられなかった。

本研究によって、チームカラーとチーム運営団体の属性とに関連があることが示唆されたが、本研究では相関関係を明らかにすることができなかつたため、今後の課題としてそれを提案したい。また、内容分析では、各Jクラブの公式サイト上の記載量に大きな影響を受け、閲覧者を意識し厳選した内容を1つだけ掲載したクラブと、多くの内容を箇条書きにしたクラブがあった場合、後者の方が多くの内容を満たしたクラブとして

また、内容分析の情報源を各Jクラブの公式サイトとしたため、「各Jクラブによって記載の有無や記載方法が異なる」、「記載量の差が大きい」などの理由で、安定したデータを得られなかった。特に、「記載量の差が大きい」ために、記載量が多いクラブがほとんどすべての調査項目を満たしてしまう反面、記載量が少ないクラブが調査項目を1項目しか満たさなかったという結果が出てしまった。これにより、調査結果は記載量の影響を大いに受けてしまっていたことが問題点として挙げられる。そこで、今後の調査では、各調査項目に対しての重みづけの実施や、公式サイト以外の情報源を用いて各クラブの回答数を統一するなど、各クラブがどの調査項目に比重を重く置いているかを配慮することで、今回の結果以上の精度の向上が期待できるだろう。

(指導教員 三波千穂美)